

第41回「議員と語りかい」報告書

総務環境常任委員会 (No. 1)

開催日	令和5年5月19日 14時00分 ~ 15時30分		
開催場所	議会棟3階 全員協議会室		
団体名	個人参加	参加人員	15人 (男 6人:女 9人)
出席議員	宮田 竜二 今吉 直樹 藤田 直仁 前島 広紀 仮屋 国治 宮内 博		
役割分担	班 長 (宮田 竜二) 副班長 (今吉 直樹) 記録係 (藤田 直仁)		
テーマ及び具体的な内容	動物と共生できる社会づくりについて		

意見交換での主な意見等	◆は参加者の発言 ◇は議員の発言
	◆「猫に餌を与えないでください。」という看板がある。地域の方は、餌はやらないが、地域外の方が餌を与えている現状がある。また、一方ではその猫を自費で避妊手術をしている方や病気になれば病院に連れて行き、死んだらペット火葬をされる方もいる。生きている猫を餓死させる訳にはいかないの、自身も餌を与えたり、風雨を凌ぐ猫ハウスを作成したりしている。
	◆霧島市も昨年「どうぶつ基金」に登録されたことはとても良かったと思っているが、積極的に働きかけていただき、もっと住みやすい環境にしてほしい。
	◆動物と触れあうことは、子どもたちの情操教育の一環として、とても大事なことであると思うので、地域猫としての環境を整えてほしい。
	◆独居老人にとって、動物を飼うことは癒やしにつながっている。
	◆外で飼う猫は、いつの間にか野良猫化することもあるので、外で飼う猫には不妊手術の際にさくらみみのカットを施すことで、捕獲の重複を防ぎ、野良猫を増やさないようにしてほしい。
◆2年前に県内で初めて鹿児島市が、行政だけではなく、市民やNPO、動物病院などの協力を得て、情報や仕組みづくりを確立させることにより、犬猫の虐待をゼロしたことを知り、霧島市においても、犬猫が嫌いな方や犬猫を守りたいと思っている方の思いを一緒に叶えていく取組みを行いたい。	

◆は参加者の発言 ◇は議員の発言

意見交換での主な意見等

- ◆公民館長には、野良猫に対して餌をやる方とやらない方とのトラブルや糞尿の臭い、発情時特有の鳴き声への苦情が度々ある。
- ◆鹿児島市においては、13年前から保護対策を施しており、本年度は需要が多いことから不妊手術に500万円の予算を割いているが、霧島市は予算化されていない。この取組みが今回だけで終わるのではなく、継続して話し合いの場を設けて頂き、できるなら令和6年度から、100万円でも200万円でも不妊手術へ補助できるように予算化にむけて、働きかけていただきたい。
- ◆猫の糞尿で迷惑を被っている方がいることも承知しているが、「野良猫に餌を与えないでください。」という看板の文言だけは消去してほしい。
- ◆猫の捕獲器の使用方法を指導する方を育成してほしい。
- ◆霧島市においても、猫の嫌いな方や好きな方の思いを叶えて、殺処分がゼロになるような環境整備を行ってほしい。
- ◆霧島市は、鹿児島県の市町村の中で「どうぶつ基金」に12番目に登録されたが、寄付はしていないので、是非とも寄付をして無料不妊手術事業チケットの交付枚数を増やしてほしい。
- ◆野良猫に餌を与えるから増えるわけではなく、不妊処置をしていないから増えるのであり、その猫も人が捨てることが原因であることを理解し、それを解決する仕組みづくりをしてほしい。
- ◇始良市の「人と動物との調和のとれた共生に関する条例」の第10条に飼い主のいない猫との関わりについての記述があり、不妊処置などの一定のルールに従った飼養管理をすれば、野良猫にも餌をやってもよいという解釈をすることができると思っているが、霧島市においてはそのような環境が整っていない状態で行われていることに問題があると感じている。
- ◆このテーマには、活動への予算化や獣医師会やボランティア団体の協力体制づくり、また不妊処置をした猫の飼育と糞尿処理を任せられるグループや団体づくりなど多くの問題があるので、継続した話し合いの場を設けてほしい。
- ◆無責任な餌やりと命をつなぐための餌やりを区別するために「無責任にエサを与えない」という文言の看板にしてはどうか。
- ◆「どうぶつ基金」への寄付の手段として、市や個人の古本等による寄付の検討をしてほしい。
- ◆採算が合わないようで、現在さくら猫への活動に協力してもらえる病院が1件しかなく、補助金制度を設けるなどして協力病院を増やしてほしい。
- ◆霧島市も飼い主のいない猫へのガイドラインがあるが、愛情が感じられない文言なので、改善してほしい。

◆は参加者の発言 ◇は議員の発言

- ◆不妊処置はその地域を一斉に行うことで成果が上がるので、チケット交付だけに頼るのではなく、目的別ふるさと納税に不妊手術等の保護活動に充てる項目を設けて、予算確保の取組みもしてほしい。
- ◆保護活動をされる方にも限りがあるので、次の里親が見つかるまで、一時的に預けることができるシェルターづくりもしてほしい。
- ◆予算化の実現のためには、予算を受入れる側の組織や体制づくりが大事であると思われるので、まず思いがある私たちがネットワークを構築するために、集まる機会を設けたい。
- ◆野良猫の糞やダニからの感染症の被害も見過ごせない問題である。

意見交換での主な意見等